安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	28-2520-6	**版**	6.00
発行日	2024/12/05	**前発行日**	2024/01/16

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ Scotch-Weld™ DP-8005 B/A Kit

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

08-8284-5, 28-2521-4

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

キット：コンポーネント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2026, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	28-2521-4	**版**	6.00
発行日	2026/10/08	**前発行日**	2024/12/05

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ Scotch-Weld™ DP-8005 (PART B)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
接着剤

1.3. 会社情報
供給者 スリーエム ジャパン株式会社
所在地 本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門 テープ・接着剤製品技術部
電話番号 042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
皮膚感作性： 区分１
生殖毒性：区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
腐食性　感嘆符　健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管

P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	47
アクリルポリマー	営業秘密	10 - 30
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	15
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-	21282-97-3	1 - 15

プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル		
ガラス球体	営業秘密	1 - 10
衝撃改質剤	20882-04-6	1 - 5
無水コハク酸	108-30-5	0.57
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	0.12
メタクリル酸メチル	80-62-6	0.10
スチレンモノマー	100-42-5	0.10
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	0.10
無水マレイン酸	108-31-6	<= 0.002

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。 アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件

アルデヒド	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
シアン化水素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。指定された個人保護具を使用する。

保管
熱から離して保管する。 酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
スチレンモノマー	100-42-5	ACGIH	TWA：10 ppm、STEL：20 ppm	A3: 動物発がん性物質, 聴器毒性物質
スチレンモノマー	100-42-5	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
スチレンモノマー	100-42-5	JSOH OELs	TWA(8 時間):42.6 mg/m3(10 ppm)	2A: ヒトに対しておそらく発がん性がある(証拠が比較的十分)、皮膚
無水マレイン酸	108-31-6	ACGIH	TWA(吸入分画および蒸気):0.01mg/m3	A4： ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質。皮膚//呼吸器感作性物質。
無水マレイン酸	108-31-6	ISHL(濃度基準値)	TWA(8 時間):0.08 mg/m3	25℃1気圧空気中
無水マレイン酸	108-31-6	JSOH OELs	TWA（８時間）：0.4 mg/m3(0.1 ppm)；CEIL：0.8 mg/m3(0.2 ppm)	呼吸器感作性のおそれ。皮膚感作性のおそれ。
メタクリル酸メチル	80-62-6	ACGIH	TWA：50ppm、STEL：100ppm	A4： ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚感作性物質
メタクリル酸メチル	80-62-6	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):20 ppm	25℃1気圧空気中
メタクリル酸メチル	80-62-6	JSOH OELs	TWA(8時間):8.3 mg/m3	呼吸器感作性のおそれ。皮膚感作性のおそれ。
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	JSOH OELs	限界値は未設定	
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	AIHA	TWA:2 mg/m3(0.5 ppm)	皮膚

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途（例：スプレー、飛沫発生が予見される用途など）に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク
半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	オフホワイト。
臭い	マイルドなアクリル臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=82.2 °C
引火点	103.3 °C［*試験方法：クローズドカップ法*］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない

燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	<=0.1 mmHg［試験条件： 20 °C］
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	0.98 g/ml
比重	0.98 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘性率	23,469 mm2/sec
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	7.3 g/l［*詳細：*パートAと一緒に使用する際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	0.8 %［*詳細：*パートAと一緒に使用する際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	392 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*支給されたままの状態］
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。

混触危険物質
強酸

危険有害な分解物

物質	**条件**
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。　アレルギー性呼吸器反応：　呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
皮膚に接触すると有害のおそれ。　製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg

製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50　4,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
2-エチルヘキシルメタクリレート	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
衝撃改質剤	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
衝撃改質剤	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
無水コハク酸	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
無水コハク酸	経口摂取	ラット	LD50　1,510 mg/kg
テトラヒドロフルフリルアルコール	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入－蒸気（4 時間）	ラット	LC50 ＞ 3.1 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	ラット	LD50　5,564 mg/kg
メタクリル酸メチル	皮膚	ウサギ	LD50 ＞ 5,000 mg/kg
メタクリル酸メチル	吸入－蒸気（4 時間）	ラット	LC50　29.8 mg/l
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	LD50　7,900 mg/kg
スチレンモノマー	皮膚	ラット	LD50 ＞ 2,000 mg/kg
スチレンモノマー	吸入－蒸気（4 時間）	ラット	LC50　11.8 mg/l
スチレンモノマー	経口摂取	ラット	LD50　5,000 mg/kg
無水マレイン酸	皮膚	ウサギ	LD50　2,620 mg/kg
無水マレイン酸	経口摂取	ラット	LD50　1,030 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
2-エチルヘキシルメタクリレート	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	ウサギ	刺激性なし
衝撃改質剤	専門家による判断	軽度の刺激
無水コハク酸	In vitro data	腐食性
テトラヒドロフルフリルアルコール	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
メタクリル酸メチル	ウサギ	刺激物
スチレンモノマー	専門家による判断	軽度の刺激
無水マレイン酸	ヒト及び動物	腐食性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
2-エチルヘキシルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	ウサギ	刺激性なし
衝撃改質剤	In vitro data	腐食性
無水コハク酸	類似健康有害性	腐食性
テトラヒドロフルフリルアルコール	ウサギ	激しい刺激
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	ウサギ	中程度の刺激
メタクリル酸メチル	ウサギ	軽度の刺激
スチレンモノマー	専門家による判断	中程度の刺激
無水マレイン酸	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	公的な分類	感作性あり
2-エチルヘキシルメタクリレート	モルモット	感作性あり
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	マウス	区分に該当しない。
衝撃改質剤	専門家による判断	感作性あり
無水コハク酸	マウス	感作性あり
テトラヒドロフルフリルアルコール	マウス	区分に該当しない。
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	ヒト及び動物	感作性あり
メタクリル酸メチル	ヒト及び動物	感作性あり
スチレンモノマー	モルモット	区分に該当しない。
無水マレイン酸	多種類の動物種	感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
無水コハク酸	類似化合物	感作性あり
メタクリル酸メチル	ヒト	区分に該当しない。
無水マレイン酸	ヒト	感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	In vitro	変異原性なし

2-エチルヘキシルメタクリレート	In vitro	変異原性なし
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	In vivo	変異原性なし
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
衝撃改質剤	In vitro	変異原性なし
無水コハク酸	In vitro	変異原性なし
テトラヒドロフルフリルアルコール	In vitro	変異原性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	In vivo	変異原性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸メチル	In vivo	変異原性なし
メタクリル酸メチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
スチレンモノマー	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
スチレンモノマー	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
無水マレイン酸	In vivo	変異原性なし
無水マレイン酸	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
無水コハク酸	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	発がん性なし
メタクリル酸メチル	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性なし
スチレンモノマー	経口摂取	マウス	発がん性
スチレンモノマー	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 120 mg/kg/日	授乳期早期交配
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 120 mg/kg/日	授乳期早期交配
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。		NOAEL 1,000 mg/kg/日	49 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。		NOAEL 300 mg/kg/日	授乳期早期交配
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。		NOAEL 300 mg/kg/日	妊娠期間中
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	56 日
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期間中
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 50 mg/kg/日	授乳期早期交配
テトラヒドロフルフリルアルコール	皮膚	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	13 週

テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	47 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	NOAEL 50 mg/kg/日	授乳期早期交配
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	49 日
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
メタクリル酸メチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2 世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2 世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 450 mg/kg/日	妊娠期間中
メタクリル酸メチル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.3 mg/l	器官発生期
スチレンモノマー	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 21 mg/kg/日	3 世代
スチレンモノマー	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.1 mg/l	2 世代
スチレンモノマー	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.1 mg/l	2 世代
スチレンモノマー	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	60 日
スチレンモノマー	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	妊娠期間中
スチレンモノマー	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2.1 mg/l	妊娠期間中
無水マレイン酸	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 55 mg/kg/日	2 世代
無水マレイン酸	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 55 mg/kg/日	2 世代
無水マレイン酸	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 140 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
衝撃改質剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
無水コハク酸	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
スチレンモノマー	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	多種類の動物種	LOAEL 4.3 mg/l	入手できない
スチレンモノマー	吸入した場合	肝臓	臓器への影響	マウス	LOAEL 2.1 mg/l	入手できない

スチレンモノマー	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
スチレンモノマー	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
スチレンモノマー	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	入手できない
スチレンモノマー	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2.1 mg/l	入手できない
無水マレイン酸	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	29 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
2-エチルヘキシルメタクリレート	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 360 mg/kg/日	90 日
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	90 日
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	90 日
3-オキソ-2-[（2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル）オキシ]エチルブタン酸エステル	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	90 日
無水コハク酸	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300	13 週

					mg/kg/日	
無水コハク酸	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
無水コハク酸	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 300 mg/kg/日	13 週
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.2 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.1 mg/l	90 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 69 mg/kg/日	91 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	免疫系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	28 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	28 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	28 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 781 mg/kg/日	91 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 781 mg/kg/日	91 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	28 日
テトラヒドロフルフリルアルコール	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	28 日
メタクリル酸メチル	皮膚	末梢神経系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年

メタクリル酸メチル	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
メタクリル酸メチル	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/日	2 年
スチレンモノマー	吸入した場合	聴覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
スチレンモノマー	吸入した場合	眼	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
スチレンモノマー	吸入した場合	肝臓	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	マウス	LOAEL 0.85 mg/l	13 週
スチレンモノマー	吸入した場合	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	LOAEL 1.1 mg/l	入手できない
スチレンモノマー	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.85 mg/l	7 日
スチレンモノマー	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	10 日
スチレンモノマー	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	LOAEL 0.09 mg/l	入手できない
スチレンモノマー	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.3 mg/l	2 年
スチレンモノマー	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.3 mg/l	2 年
スチレンモノマー	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.3 mg/l	2 年
スチレンモノマー	吸入した場合	筋肉	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.3 mg/l	2 年
スチレンモノマー	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.3 mg/l	2 年
スチレンモノマー	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 500 mg/kg/日	8 週
スチレンモノマー	経口摂取	免疫系	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	入手できない
スチレンモノマー	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 677 mg/kg/日	6 月
スチレンモノマー	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 677 mg/kg/日	6 月
スチレンモノマー	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 600 mg/kg/日	470 日
スチレンモノマー	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 35 mg/kg/日	105 週
スチレンモノマー	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 35 mg/kg/日	105 週
無水マレイン酸	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.0011 mg/l	6 月

無水マレイン酸	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.0098 mg/l	6 月
無水マレイン酸	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 55 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 250 mg/kg/日	183 日
無水マレイン酸	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	183 日
無水マレイン酸	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	183 日
無水マレイン酸	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 60 mg/kg/日	90 日
無水マレイン酸	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日
無水マレイン酸	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	80 日

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
スチレンモノマー	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アクリルポリマー	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	液状化	実験	3 時間	NOEC	320 mg/l
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>100 mg/l
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	>100 mg/l
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	11.1 mg/l
衝撃改質剤	20882-04-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>312 mg/l
衝撃改質剤	20882-04-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>515.4 mg/l

衝撃改質剤	20882-04-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	>=161 mg/l
無水マレイン酸	108-31-6	バクテリア	実験	18 時間	EC10	44.6 mg/l
無水マレイン酸	108-31-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	75 mg/l
無水マレイン酸	108-31-6	緑藻類	加水分解生成物	72 時間	ErC50	74.4 mg/l
無水マレイン酸	108-31-6	ミジンコ	加水分解生成物	48 時間	EC50	93.8 mg/l
無水マレイン酸	108-31-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	10 mg/l
無水マレイン酸	108-31-6	緑藻類	加水分解生成物	72 時間	ErC10	11.8 mg/l
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	5.3 mg/l
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	メダカ	実験	96 時間	LC50	2.8 mg/l
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.6 mg/l
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.81 mg/l
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.105 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	イシビラメ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	833 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシ	868-77-9	該当なし	実験	16 時間	EC0	>3,000 mg/l

エチル						
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	該当なし	実験	18 時間	LD50	<98 mg/kg(体重)
メタクリル酸メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>110 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>79 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	69 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	110 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	37 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	液状化	実験	30 分	EC20	150 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	>1,000 mg/kg (乾燥重量)
スチレンモノマー	100-42-5	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	4.02 mg/l
スチレンモノマー	100-42-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	4.9 mg/l
スチレンモノマー	100-42-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.7 mg/l
スチレンモノマー	100-42-5	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	0.28 mg/l
スチレンモノマー	100-42-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1.01 mg/l
スチレンモノマー	100-42-5	液状化	実験	30 分	EC50	500 mg/l
スチレンモノマー	100-42-5	シマミミズ	実験	14 日	LC50	120 mg/kg (乾燥重量)
無水コハク酸	108-30-5	緑藻類	加水分解生成物	72 時間	ErC50	>100 mg/l
無水コハク酸	108-30-5	ミジンコ	加水分解生成物	48 時間	EC50	>100 mg/l
無水コハク酸	108-30-5	ゼブラフィッシュ	加水分解生成物	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
無水コハク酸	108-30-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	95.2 mg/l
無水コハク酸	108-30-5	緑藻類	加水分解生成物	72 時間	NOEC	100 mg/l
無水コハク酸	108-30-5	液状化	加水分解生成物	3 時間	EC20	>300 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l

テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	34.7 mg/l
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>100 mg/l
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	100 mg/l
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	37.2 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリルポリマー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	64 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	6.5 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
衝撃改質剤	20882-04-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	≥80 %BOD/ThOD (< 10日)	OECD 301F
衝撃改質剤	20882-04-6	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	>1 年 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解

無水マレイン酸	108-31-6	加水分解物生分解性	25 日	二酸化炭素の発生	>90 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
無水マレイン酸	108-31-6	実験 加水分解		加水分解性半減期	0.37 分 (t 1/2)	
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	88 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	84 %BOD/COD	OECD 301D - クローズドボトル法
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	実験 加水分解		加水分解性半減期 塩基性 pH	10.9 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
メタクリル酸メチル	80-62-6	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	94 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
スチレンモノマー	100-42-5	実験 生分解性	33 日	二酸化炭素の発生	>50 CO2発生量/理論CO2発生量%	
スチレンモノマー	100-42-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	100 %BOD/COD	ISO 9408 最終好気的生分解度
スチレンモノマー	100-42-5	実験 光分解		光分解半減期 (空気中)	6.6 時間 (t 1/2)	
スチレンモノマー	100-42-5	実験 好気性土壌代謝	112 日	二酸化炭素の発生	95 CO2発生量/理論CO2発生量%	
無水コハク酸	108-30-5	加水分解物生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	96.55 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
無水コハク酸	108-30-5	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	4.3 分 (t 1/2)	
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	92 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	>1 年 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	75 %BOD/ThOD (< 10日)	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリルポリマー	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足してい	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		る。				
3-オキソ-2-[(2-メチル-1-オキソ-2-プロペニル)オキシ]エチルブタン酸エステル	21282-97-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.9	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
衝撃改質剤	20882-04-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.782	EC A.8 分配係数
無水マレイン酸	108-31-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-2.61	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	実験 生態濃縮	96 時間	生物濃縮係数	37	OECD305-生体濃縮度試験
2-エチルヘキシルメタクリレート	688-84-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.95	OECD 107類似法
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.42	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
メタクリル酸メチル	80-62-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.38	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
スチレンモノマー	100-42-5	実験 水生固有生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	100 %BOD/ThOD	OECD 302C MITI変法(II)
スチレンモノマー	100-42-5	実験 BCF - 魚		生物濃縮係数	13.5	
スチレンモノマー	100-42-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.96	OECD 107類似法
無水コハク酸	108-30-5	加水分解物 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.59	
無水コハク酸	108-30-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.44	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
テトラヒドロフルフリルアルコール	97-99-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.11	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	2455-24-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.76	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
消防法：第四類第三石油類
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
2-エチルヘキシルメタクリレート	メタクリル酸２－エチルヘキシル	適用しない	該当	該当
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	該当	該当	該当
メタクリル酸メチル	メタクリル酸メチル	該当	該当	該当
スチレンモノマー	スチレン	該当	該当	該当
無水コハク酸	無水コハク酸	適用しない	適用しない	該当
テトラヒドロフルフリルアルコール	(テトラヒドロフラン-2-イル)メタノール	適用しない	該当	該当
テトラヒドロフルフリルメタクリレート	メタクリル酸テトラヒドロフルフリル	適用しない	適用しない	該当

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.
セクション２：絵表示 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：保護具 - エプロンについて 情報の追加.
セクション８：保護具 - 皮膚/体幹 情報の削除.
セクション８：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の削除.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の追加.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の削除.
セクション９：動粘性率情報 情報修正.
セクション９：蒸気圧 情報修正.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（皮膚） 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	08-8284-5	**版**	13.00
発行日	2024/12/05	**前発行日**	2021/02/04

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ Scotch-Weld™ DP-8005 (PART A)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
構造用接着剤

1.3. 会社情報
供給者 スリーエム ジャパン株式会社
所在地 本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門 テープ・接着剤製品技術部
電話番号 042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分４
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
呼吸器感作性： 区分１
皮膚感作性： 区分１
生殖細胞変異原性： 区分２
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分２

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
腐食性　健康有害性　環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H227	可燃性液体
H318	重篤な眼の損傷
H334	吸入するとアレルギー，ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P284A	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい状態を確保すること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P403	換気の良い場所で保管すること。
P405	施錠して保管すること。

廃棄
P501　　内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性
アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。　二酸化チタンは発がん性物質に区分されているが、本製品の通常の使用において健康影響のあるような暴露はないと考えられる。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
アジピン酸ポリエステル	営業秘密	40 - 70
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	64265-57-2	20 - 40
アミン - ボラン錯体	223674-50-8	18
非晶性シリカ	67762-90-7	0.5 - 1.5
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0.34

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性呼吸反応（呼吸困難、喘鳴、咳、胸部圧迫感）。 アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用す

ること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
アルデヒド	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。　ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を

避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　指定された個人保護具を使用する。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。　熱から離して保管する。　酸から離して保管する。　酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA (提案)(8 時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	白色
臭い	マイルドなアクリル臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=82.2 °C
引火点	82.2 °C［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	引火性液体： 区分４
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	<=13.3 Pa
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.063 g/ml
比重	1.063 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	46,096 mm2/sec
揮発性有機化合物	<=65 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*EU VOC含有量。］
揮発分	5 - 10 重量%［*試験方法：*ACS METHOD］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	7.8 g/l［*詳細：*パートBと一緒に使用した際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	0.8 %［*詳細：*パートBと一緒に使用した際］

(JIS－GHSの要求項目ではない)	
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS－GHSの要求項目ではない)	65 g/l [*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値] [*詳細：*支給されたままの状態]
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
強酸
強酸化性物質

危険有害な分解物
物質 **条件**
知見はない。

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。 また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。　アレルギー性呼吸器反応：　呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと、健康障害を起こすことがある。　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報

遺伝子毒性
遺伝子毒性・変異原性：遺伝子と相互作用を起こし、遺伝子発現を変化させる可能性がある。

追加情報
アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50　0.252 mg/l
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	経口摂取	ラット	LD50　3,038 mg/kg
アミン - ボラン錯体	経口摂取	ラット	LD50　693 mg/kg
非晶性シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
非晶性シリカ	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
非晶性シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果

トリス［3－（2－メチルアジリジン－1－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	ウサギ	軽度の刺激
アミン - ボラン錯体	ウサギ	刺激性なし
非晶性シリカ	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トリス［3－（2－メチルアジリジン－1－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	ウサギ	腐食性
アミン - ボラン錯体	専門家による判断	激しい刺激
非晶性シリカ	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
トリス［3－（2－メチルアジリジン－1－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	ヒト及び動物	感作性あり
アミン - ボラン錯体	モルモット	感作性あり
非晶性シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
トリス［3－（2－メチルアジリジン－1－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	ヒト	感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
トリス［3－（2－メチルアジリジン－1－イル）プ　ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	In vivo	変異原性
アミン - ボラン錯体	In vitro	変異原性なし
非晶性シリカ	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
非晶性シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物	発がん性なし

		種	
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
非晶性シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
非晶性シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
非晶性シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トリス［3－（2－メチルアジリジン－1－イル）プ ロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	4 時間

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
非晶性シリカ	吸入した場合	呼吸器系 ｜ 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。 セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分２：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	64265-57-2	藻類または他の水生植物	実験	72 時間	EC50	3.8 mg/l
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	64265-57-2	魚	実験	96 時間	LC50	2.35 mg/l
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	64265-57-2	無脊椎動物	実験	48 時間	EC50	6.96 mg/l
非晶性シリカ	67762-90-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
アミン - ボラン錯体	223674-50-8	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	64265-57-2	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	<60 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
非晶性シリカ	67762-90-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アミン - ボラン錯体	223674-50-8	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	44 CO2発生量/理論CO2発生量%	EC C.4.C. CO2 発生試験
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
トリス［３－（２－メチルアジリジン－１－イル）プロピオン酸］＝プロピリジントリメチル	64265-57-2	モデル 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.5	ACD/Labs ChemSketch™
非晶性シリカ	67762-90-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アミン - ボラン錯体	223674-50-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	>5.99	EC A.8 分配係数
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；本SDSのGHS分類により適用
労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
化管法：第１種指定化学物質
消防法：第四類第三石油類
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
アミン - ボラン錯体	ホウ素化合物（ホウ素として）	405	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション１：製品用途 情報の追加.
セクション２：環境影響ステートメント 情報の追加.
セクション２：GHS分類 情報修正.
セクション２：健康有害性 情報修正.
セクション２：絵表示 情報修正.
セクション２：注意書き - 安全対策 情報修正.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション２：シンボル 情報修正.
セクション２：ラベル要素の追加GHS情報 情報の追加.

セクション３：成分表 情報修正.
項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
セクション５：火災時情報（消火剤） 情報修正.
セクション６：事故漏出時の清掃 情報修正.
セクション６：事故漏出時の措置 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション７：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション８：mg/m3 記号 情報の追加.
セクション８：作業環境許容値 情報の追加.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報の追加.
セクション８：保護具 - 眼 情報修正.
セクション８：保護具 - 吸入 情報修正.
セクション８：ppm 記号 情報の追加.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション８：STL記号 情報の追加.
セクション８：TWA記号 情報の追加.
セクション９：融点/凝固点 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：揮発分 情報修正.
セクション９：pH情報 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション９：揮発性有機化合物 情報修正.
セクション１０：避けるべき条件 情報修正.
セクション１０：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：健康影響情報 （追加情報） 情報の追加.
セクション１１：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（皮膚） 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：水生生物への急性毒性情報 情報修正.
セクション１２：水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.

セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション１５：法規名 - 表 情報の削除.
セクション１５：化管法の表 情報の追加.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。